

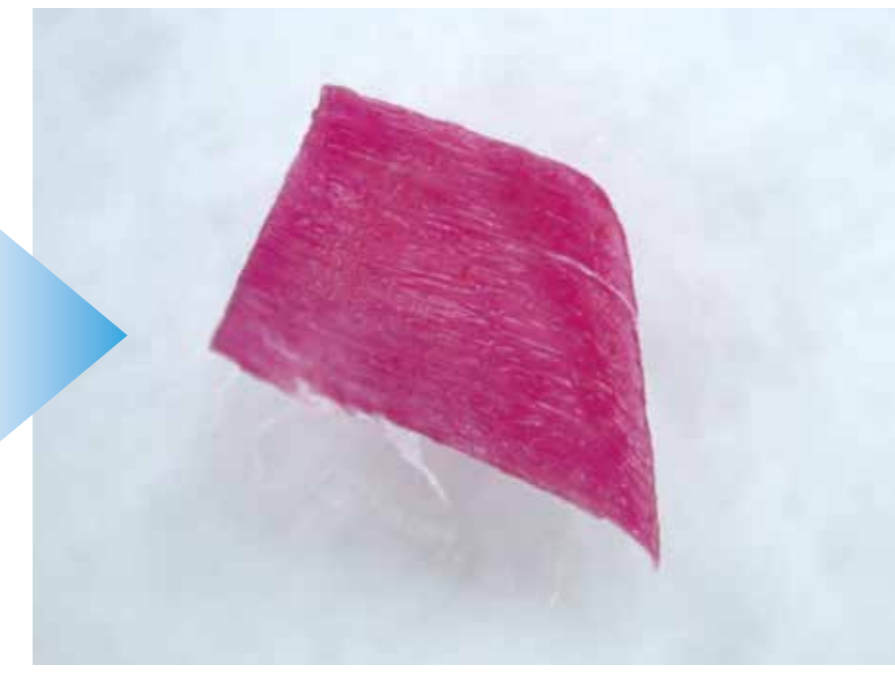
# 検査課での異物検査紹介

## 定性検査 (抜粋)



### 外観観察

目視やルーペ、実体顕微鏡を用いて、異物の特徴的な形状を確認



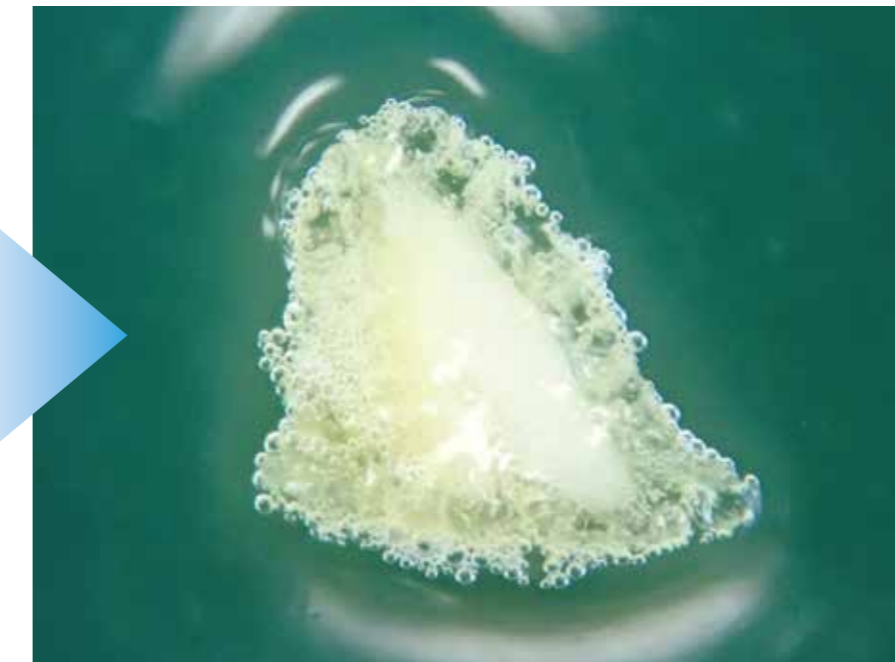
### 呈色試験

呈色試薬による色の変化の判別



### 燃焼試験

燃焼時の形状の変化や、煙の色、炎の色などを観察



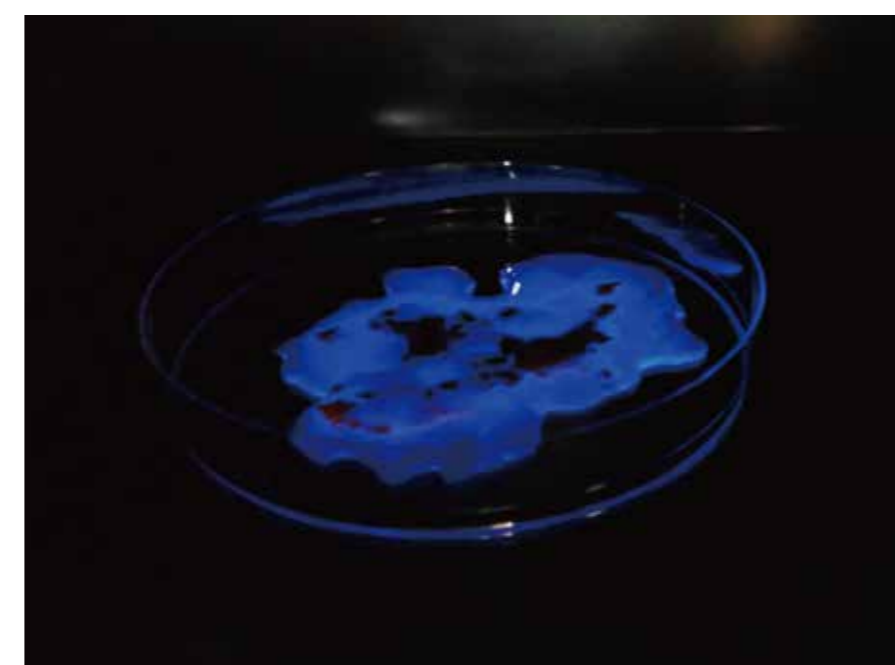
### 溶解試験

水や有機溶剤、酸などによる状態変化の確認



### カタラーゼ試験

加熱の有無を判別



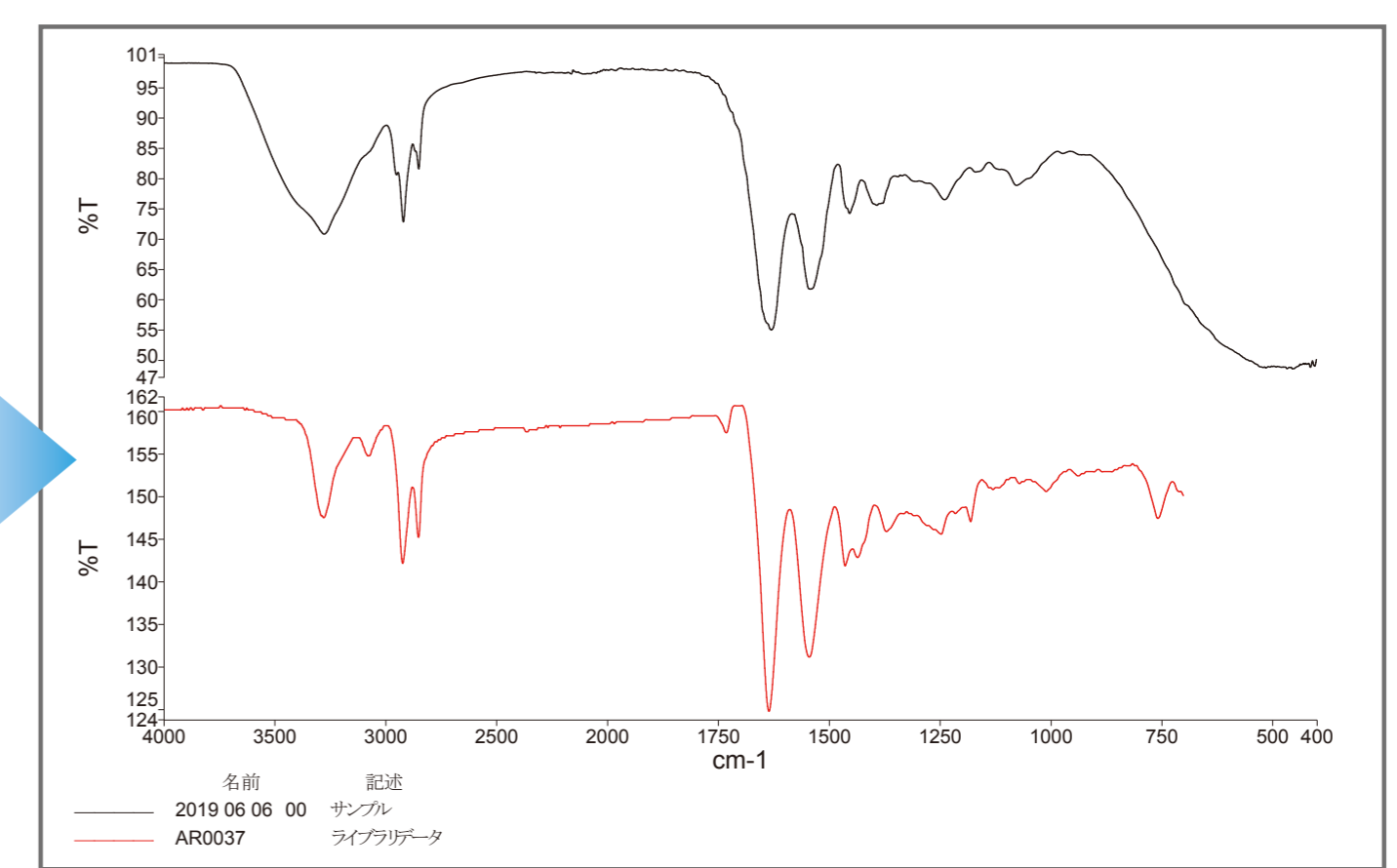
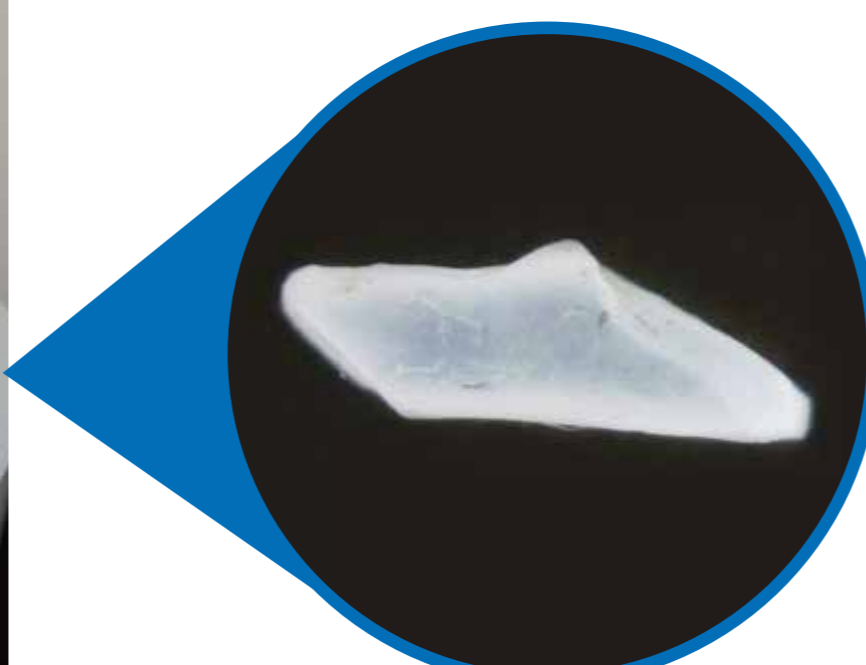
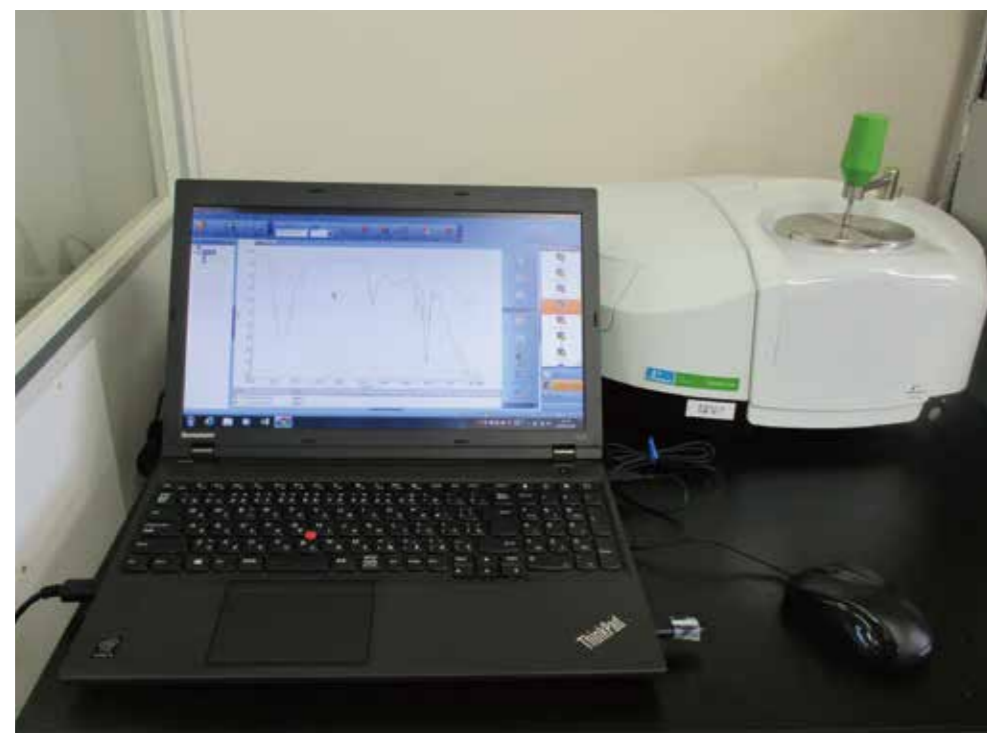
### ルミノール試験

試薬による発光の有無の判別

## 機器分析

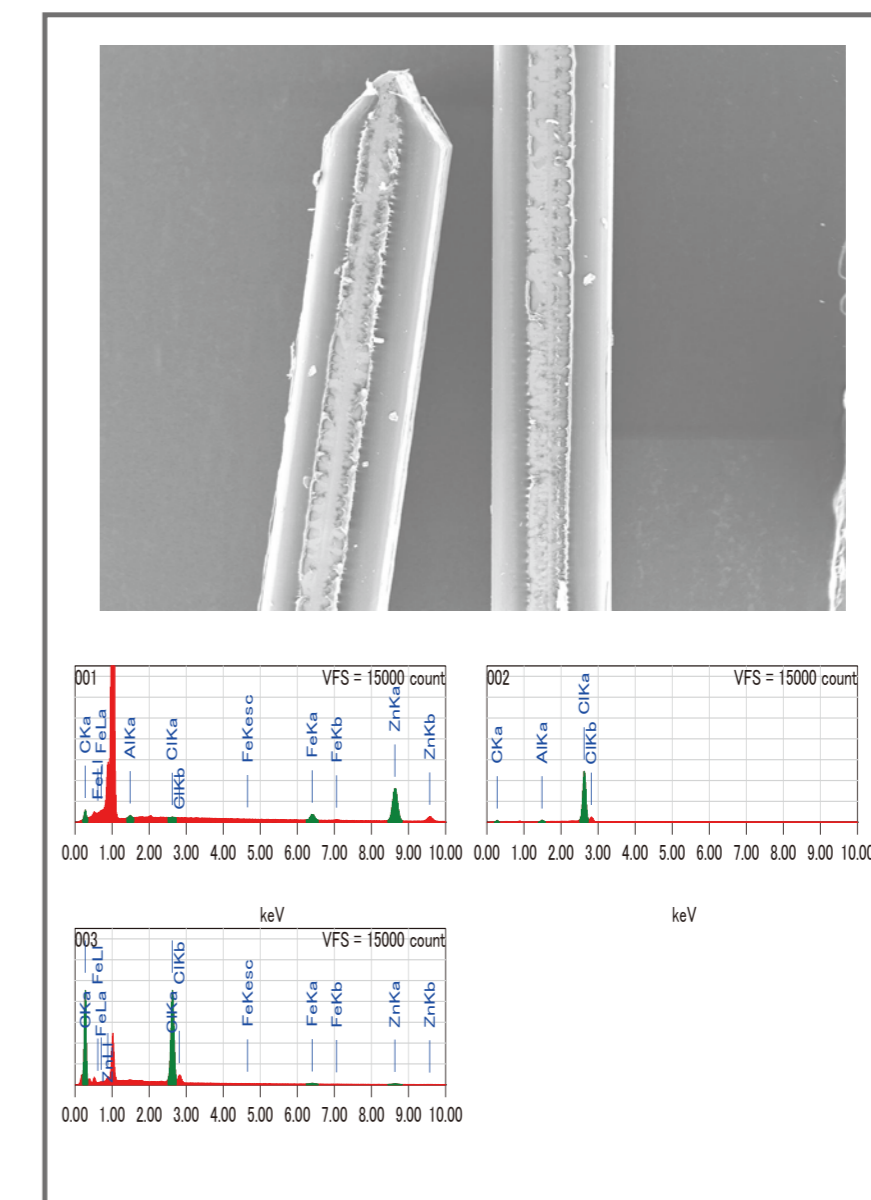
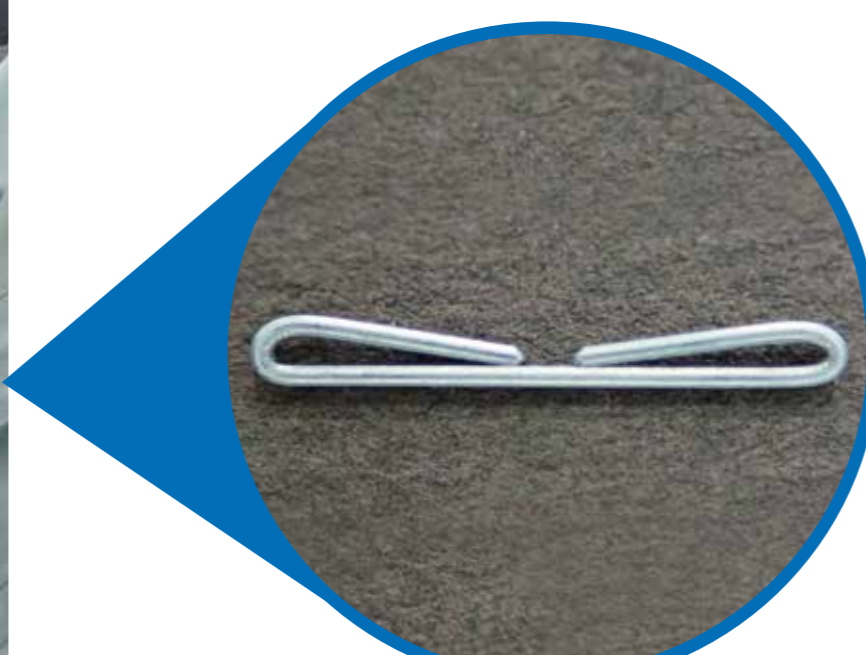
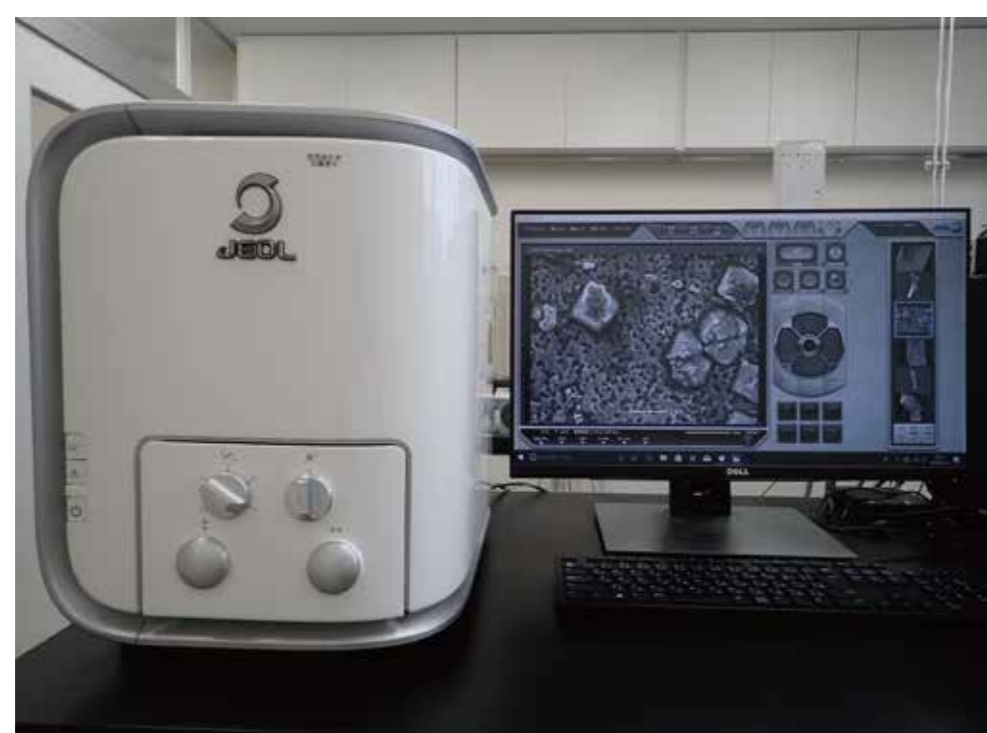
### フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)

主に有機物の判別  
(例) 骨、プラスチック



### 走査電子顕微鏡 (SEM-EDS)

主に無機物の判別  
(例) 金属、ガラス



様々な手法を用いて検査を行うことで成分等を明らかにし、原因究明に役立つ情報となります。